

限を撤廃

12月
定例会
から適用

第3回定例会（以下9月議会）を9月7日に開会した。9月議会ではH22年度決算認定のため、決算審査特別委員会を設け、3日間にわたって審査した。

7、8日は議員が31項目にわたって一般質問をした。議案審議は9日及び12日に行い、26日に追加議案の審議と各委員会の調査報告を行い閉会した。

また、2日には全員協議会を開き提案が予定されている町道の変更と認定、さらに三次市の市道を世羅町内に設置する事案の現地調査を行なった。

議会改革の一步

最終日の26日、西田美喜男議会議長が「議会改革特別委員長が「議会改革に資するため質問の回数を撤廃する」とした会議規則の一部改正案を提案。全員賛成で可決した。これまで3回までと制限していたた

め議論がかみ合わないこともあった。回数制限の撤廃で議論がより深まる事が期待される。一方で議員には、周到な調査、研究などの準備がこれまでに以上に求められる事となる。

セラアグリパークの決算と計画

世羅町が出資する第3セクターの株式会社セラアグリパークは6月に決算を行った。今期の売り上げは1億9千万円で経常利益は700万

円。次期の計画は、売り上げ2億6千万円、経常利益の600万円などが報告された。（金額はいずれも概算）

町道路線の変更など

川尻地区の圃場整備事業による。

（変更）比恵谷線、赤城線、大谷鼻戸線、山根仁井線、塚崎1号線、2号線、地入堂線、朝暮線

（認定）塚崎4号線
地元要望による。

（変更）乙丸才京線
また、三次市市道と

して徳市567号線は吉舎町境界から約400m、山崎線は三和町境界から54mをそれぞれ世羅町内に市道認定する。整備や維持管理は三次市が負担するが、住民の使用に制限はない。



町道路線変更 現地調査

人事

各種の委員の選任には、議会の同意が必要なもの、議会の意見を付して国へ推薦するものなどがある。

任期満了が予定される4委員の選任あるいは推薦に同意した。

◆選任同意

固定資産評価審査委員
田坂 誠（宇津戸）

教育委員会委員
今田 峰子（下津田）

◆法務大臣へ推薦適任

人権擁護委員
落合 脩（西上原）
瀬尾 紀枝（本郷）

質問の回数制



10月1日から津名・敷名間に運行された有償旅客運送車

旅客運送条例を制定

10月1日から世羅町津名と三次市三和町敷名の間に、自家用有償旅客運送（統一した短縮呼称がないため本稿では以下「地域乗り合いバス」とする）を運行開始する。この目的や管理運営など基本的事項を条例として定めた。道路運送法は自家用車が運賃をとって運行する事は原則認めていない。しかし「公共の福祉を確保するためやむを得ない場合」は例外としている。これにより公共交通空白地対策となる。町内の先進事例として期待される。なお、地域乗り合いバスの利用は津名地区に住所又は、日常の用務を有する人で1回300円、事前予約が必要となる。

補正予算

H22年度決算が確定したことによる繰越金と人事異動に伴う人件費部分の組み換えなどのため、全9会計で補正予算が提出された。一般会計では、前述H22年度決算が確定に加え、小規模農業基盤整備事業や町道維持費など増額する一方で、震災で手配がつかないことから消防車両の更新を見送った。今年度内の工事完了をめ

ざしていた町道安田徳市線改良工事は、台風の大雨で法面崩壊があった。このため工事を中断し原因究明のために調査費を付ける事とした。

皆さんの
からの

陳情と請願 このように決めました

採択となったもの

◎「せらにしタウンセンター」横の圃場グランド有効利用に係わる要望

世羅町商工会青年部 部長 高橋 久時

◎宇津戸下仮屋地区臭気改善要望

宇津戸下仮屋公害対策委員会 会長 坂上 明登
宇津戸コミュニティ推進協議会 会長 信宗 達也

◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について

広島県教職員組合世羅支部 支部長 神田 明

広島県教職員組合の陳情採択を受けて中村幸雄総務文教常任委員長は、財務大臣、文部科学大臣に提出する意見書を議員発議した。

全員の賛成で可決し、世羅町議会として意見書を提出することとした。